

(仮称)

Limited Liability Partnership (LLP)

ノマドック競走馬リハビリセンター事業構想

平成17年1月

(有) ノマドック

## 目 次

1. 施設建設の目的	4
2. 施設の必要性	5
3. 施設の特徴	6
4. 計画のスケジュール	7
5. 施設概要	7
6. 開業時所要資金	10
7. 資金調達計画	10
8. 収支計画-1	11
収支計画-2	12
9. 二次計画の収支計画-1	13
二次計画の収支計画-2	14
10. 二次計画・所要資金	15
11. 二次計画・資金調達計画	15
12. 収支の内訳	16
13. 収支の内訳・二次計画	19
14. 類似施設一覧	21
15. 参考資料	22

NOMADOC の精神である何事にもとらわれない、新しい時代の寵児となることをわたしたちは、自分たちの為のみならず、ひいては馬の業界にいる人々の心のよりどころになるべく、日々切磋琢磨して精進したいと願っています。

自分のクオリティーを高め、実のなる木になろう。きっと馬を中心に楽しいことができることを信じて、今日を生きています。

## 【参考資料】

国際馬術連盟 獣医規程 第9版（2002年1月FEI施行）  
（2004/06/24・一部改訂抜粋）

## 馬スポーツ憲章

- 1.. すべての馬術スポーツにおいて、馬は最も重要な存在として扱わなければならない。
- 2.. 馬のウェルフェアは、生産者、トレーナー、騎乗者、所有者、馬購入仲介人、競技会の主催者、後援者、役員などがいかなる要求よりも、優先されなければならない。
- 3.. 馬の取扱いや獣医学的治療は、馬の健康とウェルフェアを守るために実施されなければならない。
- 4.. 栄養、健康、衛生設備、安全面における常に高い水準の環境を奨励し、維持しなくてはならない。
- 5.. 馬を輸送する時には、適切な換気、飼料、飲料水、そして馬の健康を維持できる環境を整えなければならない。
- 6.. 馬のウェルフェアのためには、騎乗者の健康と技術は欠くことのできないものである。
- 7.. いかなる騎乗法あるいは調教法においても、馬が生き物であることを考慮すべきであり、FEIが虐待とみなす行為は決して行ってはならない。
- 8.. 馬の健康とウェルフェアに関する馬術競技の国内・国際諸規程は、国内・国際競技会の期間中に限らず、調教時にも尊重されなければならない。競技に関する諸規程は、馬のウェルフェアを保証するために常に見直さなければならない。

## 1. 施設建設の目的

競馬そのものからのファン離れが指摘される中、乗馬人口の緩やかな増加傾向、生産地を訪れる観光客の増加など、馬を愛する人々は、脈々と存在していることに着目し、馬への情熱を持ち続ける有能な関係者の人脈を生かし、競馬関係者・馬術関係者を問わず、双方の融合を図り、‘メンタル強化’をすることで、馬と人の関係がより親密になろうとする、我が国にはこれまでになかった次世代のステージを構築してゆきます。

競馬の歴史が300年以上にもおよぶイギリスにおいて、サラブレッドの生産頭数が5,000頭余りにもかかわらず、平地・障害競走と多くの競馬の開催を実施し続けている根源には、‘メンタル強化’に欠かせない自然の中での調教があることは、あまりにも有名です。(ニューマーケットの丘)生産頭数が4,000頭余りのフランスでは森林の木の陰から馬が現れます。(シャンティエの森)従来の我が国での調教は往々にして生産頭数が33,000頭にも上るアメリカを手本にしてきたせいか、競走馬の厩舎といえば、競馬場に隣接しているか、トレーニングセンターにあるものと決まっています。馬場の中だけでの調教を受けておるわけです。

1981年(昭和56年)に創設されたジャパンカップ競走を皮切りに、我が国の競馬は国際化と競馬一流国入りを目指してまいりました。国際化には痛みも付きものでしたが、しかしこの二十数年間、関係者の甚大なご努力の結果、ステージは次々と昇級し、家畜改良という点では近代稀にみる飛躍であったと周知されています。同時にJRA競走馬総合研究所では、年度ごとにテーマをしぼり、長年にわたり多額の費用をかけ、馬の福祉向上のために研究努力を重ねてこられました結果、獣医学的な知見は進歩し飛躍的な向上をとげました。

馬への福祉は競馬だけではなく、すでに馬術の世界では最も尊重されるものとして憲章が掲げられております。しかしながら馬を使役する際の常識的基準というものには常に判定の難しさや、個人の価値観の違いも少なからず影響を与えますので、馬への福祉の向上には、関係者の学習や環境整備が最も必要不可欠となってまいります。ひいては近未来馬関係者の社会的地位の向上を確立することで、さらなるステージの昇級が可能となるのではないのでしょうか。

ノマドック競走馬リハビリセンターでは、従来JBBA日本軽種馬協会や日高軽種馬共同育成公社、BTC軽種馬育成調教センターなどで実施され優秀な修了生を送り出している、育成技術者研修を模範にして、馬の臨床獣医師の技術の向上を目指した研修制度を確立します。

技術的な進歩を生かすことで、息の長い競走生活をおくる馬が増えれば、馬を愛するフ

ファンにとってはそういった馬への愛着が増し、競馬からのファン離れにも歯止めをかけることとなります。また愛着ある馬を中心にした観光を目的に北海道を訪問してもらえよう、サラブレッド銀座を代表とする唯一無二の牧歌的風景の遺産を、後世に残していかなければなりません。

多くの競走馬の引退後は、乗用馬への用途変更である。実際ホーストレッキングに使役していることそのものが馬へのリハビリ効果が大きいことが、またストレス解消効果が、山登りによって良質な筋肉を作る効果があることがわかってきました。

美しい田園風景の中に溶け込む調教のあり方こそ、競走生活に疲れた馬たちを癒してあげることができる、治療とリハビリのための環境なのです。

## 2. 施設の必要性

この平成17年から5年間の措置として、農林水産省およびJRAの生産対策が実施される。生産振興事業とは総額169億円を投じて、優良軽種馬生産の法人化・大規模化・集約化と、供給縮小のために廃業生産農家に対し、他農業への転化・安定を推し進めるものである。

今やこの5年のうちに、軽種馬生産の産業の下に生業を営む者、獣医師や装蹄士、馬具やさんなどなどの、顧客である牧場の形態がすっかり様変わりしてしまうというのである。

獣医師とて例外なく、需要数以上には必要がなくなり、馬の頭数がたくさんいる大手牧場ほど、お抱え獣医師を雇用しはじめ、すでに過去10年のあいだそういった動きが見られたものが、加速度的に進むのである。往診して見る馬の絶対頭数は激減することが予想される。

NOMADOCでは、過去から現在にわたって積み重ねてきた豊富な経験を基に、獣医師の革命児となり、この生産対策に対応していこうと考える。

薬局を含む馬のための総合病院建設。リハビリ施設としての類似施設は、数多くはなく、道内でははじめて、歯科・口腔外科・耳鼻咽喉科・整形外科・外科・内科・リハビリ科・スポーツ栄養科の機能を備えた総合病院としては、日本国内でははじめてになろう。

薬局部門では、一般に広く顧客を求め、わけても日高管内の獣医師の購買に期待する。かつて旧ホシ伊藤(株)現アグロジャパンの薬品管理倉庫が静内町にあり、欲しい薬が即日手に入ったものだが、在庫管理の難しさから撤退し、今では札幌からの取り寄せ、もしくは使用される頻度の少ない薬にいたっては、数日から数週間後まで待たないと手に入らない、というものまであるのが実情である。使用される頻度の多い薬には、大量仕入れによる低コスト化により、末端価格の低い設定ができる可能性があり、期待される。

現在では現役競走馬がゆっくりと休養できる施設は少なく、放牧目的であれ、休養に入るそのほとんどが、慌しく未来の競走馬を育てている、若駒の為のトレーニングセンター

の内である。

平均在厩日数が5ヶ月ともなる休養競走馬には、各馬が精神的に充足感を抱くことが必要である。休養競走馬だけの施設であれば、森林の中を散歩したり、違う景色を見たりすることで気分転換ができるので、さらに馬がリラックスしやすくなる。大人の馬の空間にいることになる。また、故障した馬だからといって、‘舎飼い’と呼ばれる、3.6メートル四方そこそこしかないボックスの中で何週間、何ヶ月もすごさせられることは、馬にとって大きな精神的苦痛を味わうことになる。だから故障した馬を‘舎飼い’にしたりしないでリハビリ運動をする。水の浮力を利用した機器やプールを使うことは、すでにJRAの馬の温泉などで実証されていることだ。

「勝つ可能性があって、しかも、意欲がある馬」に「馬が好きで、すべての馬を一様に扱うのではなく、それぞれの個性を理解する優秀なスタッフ」がリハビリにあたれば、故障した馬も華々しく復活し、馬主に多くの富を与え、また「無事これ名馬」は多くのファンが愛してやまないであろう。

### 3. 施設の特徴

#### ①フィールドワーク：絵のように美しい木立ちの中をいく

自然の坂道

でこぼこ・砂利道

川渡り

乗馬部門で日々エンデュランス競技のトレーニングを積み、何事にも動じないリードホースが帯同する

#### ②リラックス：オアシスのような存在

すべらない安全で、消臭ユニット付きの快適な厩舎生活

一頭一頭を検査したデータから食事メニューが決まる

漢方薬による処方食で体質の改善

ハーブで嗜好性を高める

#### ③リハビリトレーニング：歩行運動・速足運動を中心に最新機器を利用

マッサージ・鍼灸の処方

CR・内視鏡・超音波などのコンピューター医療支援管理システム

#### ④プロの眼：「プロ中のプロ」技術の切磋琢磨

専門家間で連携を図り、一頭一頭をベストな状態でケアできる体制づくり

#### 4. 計画のスケジュール

17年度 立案

18年度 着工⇒完成 運営開始

#### 5. 施設概要

①施設名称：農業生産法人 ノマドック競走馬リハビリセンター

②所在地：新冠町 節婦・古岸・明和

③敷地面積：リハビリセンター 約50ha

古岸 20ha

明和 約10ha

④施設面積：リハビリセンター厩舎 約10ha と町有林

明和厩舎 約5ha とアクマップ道有林

⑤馬場：ノマドックトラック 全周 1200m

フィールドコース 全長 約15000m

町有林林間コース 約5000m

アクマップ道有林林道 約10000m

坂路コース（最大勾配3%） 全長 650m

⑥馬房数：60馬房

⑦従業者数：獣医師 2名

調馬看護師 3名～8名

薬剤師 0名～1名

医療管理事務員 1名

農務・農機具管理員 1名

炊事・給仕担当 1名

乗馬トレッキングガイド 1名

サービス営業マン 0名～1名

合計予定数：9人～16人

⑧その他施設：診療所（高度先進治療・リハビリ）

ウォーキングマシーン3基

エアロホース（ウォータートレッドミル）1基

トレッドミル1基

馬洗い場・洗濯・馬乾燥室つきトレッドミル厩舎

パドックつき厩舎（20・20・10・10馬房）

超微細クラスター消臭ユニット（全厩舎）

寝づまり予防セーフティーストラップ（全馬房）

天井吊り赤外線ヒーター（全馬洗い場・馬具庫他）飼料庫・

馬具庫・車両保管庫

ミーティング・カンファレンスルーム

薬剤医療支援システム管理総合事務所

寝台つき5頭積み低床馬運車

従業員用コンドミニアム

など

⑨二次計画構想：馬の温泉

手術室

MRI導入

高圧酸素ルーム

明和厩舎増築（10馬房⇒20馬房）

## 6. 開業時所要資金

(単位：千円)

項目	金額	内容
1. 建物関係	196,850	
2. 機械器具	45,000	
3. 馬場工事費	8,000	
4. 医療器具	30,350	
5. 事務機器	8,300	
6. 馬具	6,800	
7. 薬剤管理具	2,500	
8. 開業運転資金	42,600	
合計	340,400	

## 7. 資金調達計画

(単位：千円)

項目	金額	利率	備考
1. 自己資金	50,000		
2. 助成金等	150,000		
3. 借入金	140,400	3%	15年均等償還
4. その他			
合計	340,400		

## 8. 収支計画— 1

(単位：千円)

項 目	初年度	2年度	3年度	4年度以降	
入院頭数	20頭12ヶ月	30頭12ヶ月	40頭12ヶ月	50頭12ヶ月	
売上高	67,200	100,800	134,400	168,000	
売上原価	19,200	28,800	38,400	48,000	
売上総利益	48,000	72,000	96,000	120,000	
販売費 一般 管理費	役員報酬	12,000	12,000	15,600	15,600
	人件費等	18,600	27,600	33,600	39,600
	地代家賃	7,250	7,250	7,250	7,250
	水道光熱費	2,900	2,900	2,900	2,900
	リース料	300	300	300	300
	消耗品	480	2,480	5,480	5,480
	通信費	768	768	768	768
	旅費交通費	720	720	720	720
	車両費	1,486	3,486	4,486	4,486
	広告宣伝費	259	259	259	259
	諸会費	0	0	0	0
	減価償却費	17,349	17,349	17,349	16,599
	租税公課	500	2,200	3,000	3,500
	保険料	351	351	351	351
その他経費	2,700	3,700	5,700	5,700	
雑費	1,900	1,900	1,900	1,900	
販・管費計	67,563	83,263	99,663	105,413	
営業利益	△19,563	△11,263	△3,663	9,487	
支払利息	4,212	4,212	3,931	3,650	
税引前利益	△23,775	△15,475	△7,594	10,937	
法人税等					
当期利益	△23,775	△15,475	△7,594	10,937	
(同上累計)	△23,775	△39,250	△46,844	△35,907	
償却費	17,349	17,349	17,349	16,599	
返済財源	△6,426	1,874	9,755	27,536	
(同上累計)	△6,426	△4,552	5,203	32,739	
返済額		9,360	9,360	9,360	
再投資				35,342	
借入金残高	140,400	131,040	121,680	112,320	
資金残高	36,174	28,688	29,083	11,917	

収支計画—2

(単位：千円)

項 目	5年度	6年度	7年度	8年度以降
入院頭数	50頭12ヶ月	50頭12ヶ月	50頭12ヶ月	50頭12ヶ月
売上高	168,000	168,000	168,000	168,000
売上原価	48,000	48,000	48,000	48,000
売上総利益	120,000	120,000	120,000	120,000
販売費 一般 管理費	役員報酬	15,600	15,600	15,600
	人件費等	39,600	39,600	39,600
	地代家賃	7,250	7,250	7,250
	水道光熱費	2,900	2,900	2,900
	リース料	300	300	300
	消耗品	5,400	5,400	5,400
	通信費	768	768	768
	旅費交通費	720	720	720
	車両費	4,486	4,486	4,486
	広告宣伝費	259	259	259
	諸会費	0	0	0
	減価償却費	16,599	15,375	9,578
	租税公課	3,500	3,500	3,500
	保険料	351	351	351
	その他経費	5,700	5,700	5,700
雑費	1,900	1,900	1,900	
販・管費計	105,413	104,189	98,392	98,392
営業利益	14,687	15,811	21,608	21,608
支払利息	3,369	3,089	2,808	2,527
税引前利益	11,318	12,722	18,800	19,081
法人税等			3,466	9,540
当期利益	11,318	12,722	15,334	9,541
(同上累計)	△24,589	△11,867	3,467	13,008
償却費	16,599	15,375	9,578	9,578
返済財源	27,917	28,097	24,912	19,119
(同上累計)	60,656	88,753	113,665	132,784
返済額	9,360	9,360	9,360	9,360
再投資				
借入金残高	102,960	93,600	84,240	74,880
資金残高	30,474	49,211	64,763	74,522

9. 二次計画の収支計画-1・(5年～8年度)

(単位：千円)

項 目	5年度	6年度	7年度	8年度以降
入院頭数	10頭12ヶ月	20頭12ヶ月	20頭12ヶ月	20頭12ヶ月
売上高	33,600	67,200	67,200	67,200
売上原価	9,600	19,200	19,200	19,200
売上総利益	24,000	48,000	48,000	48,000
販売費 一般 管理費	役員報酬			
	人件費等	10,500	10,500	10,500
	地代家賃			
	水道光熱費	2,300	2,300	2,300
	リース料			
	消耗品	1,342	1,342	1,342
	通信費			
	旅費交通費			
	車両費			
	広告宣伝費			
	諸会費			
	減価償却費	25,951	25,951	25,951
	租税公課	1,500	2,700	2,700
	保険料	300	300	300
その他経費	1,000	2,000	2,000	
雑費				
販・管費計	42,893	45,093	45,093	45,093
営業利益	△18,893	2,907	2,907	2,907
支払利息	4,290	4,004	3,718	3,432
税引前利益	△23,183	△1,097	△811	△525
法人税等				
当期利益	△23,183	△1,097	△811	△525
(同上累計)	△23,183	△23,769	△24,580	△25,105
償却費	25,951	25,951	25,951	25,951
返済財源	2,768	24,854	25,140	25,426
(同上累計)	2,768	27,622	52,762	78,188
返済額	9,533	9,533	9,533	9,533
再投資				
借入金残高	133,467	123,934	114,401	104,868
資金残高	△6,765	8,556	24,163	40,056

二次計画の収支計画-2・(9年～12年度)

(単位：千円)

項 目	9年度	10年度	11年度	12年度以降	
入院頭数	20頭12ヶ月	20頭12ヶ月	20頭12ヶ月	20頭12ヶ月	
売上高	67,200	67,200	67,200	67,200	
売上原価	19,200	19,200	19,200	19,200	
売上総利益	48,000	48,000	48,000	48,000	
販売費 一般 管理 費	役員報酬				
	人件費等	10,500	10,500	10,500	
	地代家賃				
	水道光熱費	2,300	2,300	2,300	
	リース料				
	消耗品	1,342	1,342	1,342	
	通信費				
	旅費交通費				
	車両費				
	広告宣伝費				
	諸会費				
	減価償却費	25,951	25,710	14,085	14,085
	租税公課	2,700	2,700	2,700	2,700
	保険料	300	300	300	300
その他経費	2,000	2,000	2,000	2,000	
雑費					
販・管費計	45,093	44,852	33,227	33,227	
営業利益	2,907	3,148	14,773	14,773	
支払利息	3,146	2,860	2,574	2,288	
税引前利益	△239	288	12,199	12,485	
法人税等				1,216	
当期利益	△239	288	12,199	11,269	
(同上累計)	△25,344	△25,056	△12,857	△1,588	
償却費	25,951	25,710	14,085	14,085	
返済財源	25,712	25,998	26,284	25,354	
(同上累計)	103,900	129,898	156,182	181,536	
返済額	9,533	9,533	9,533	76,269	
再投資					
借入金残高	95,335	85,802	76,269	0	
資金残高	56,235	72,700	89,451	13,182	

## 10. 二次計画・所要資金

(単位：千円)

項目	金額	内容
1. 建物関係	254,000	
2. 馬場工事費	7,000	
3. 医療器具	70,000	
4. 事務機器	7,500	
5. 馬具	1,342	
6. 車両	6,800	
合計	353,342	

## 11. 二次計画・資金調達計画

(単位：千円)

項目	金額	利率	備考
1. 自己資金	35,342		手持ち資金充当
2. 助成金等	175,000		事業費の50%
3. 借入金	143,000	3%	15年均等償還
4. その他			
合計	353,342		

- ・ 二次計画の所要資金の10%は、手持ち資金を充当する。
- ・ 二次計画の所要資金の50%は、当核助成金を利用し、不足分を借入金とし、金利3%、15年均等償還とする。
- ・ 一次計画の4年度で、二次計画の自己資金を35,342千円充当しているため、資金残高が当初計画（B案）より減少している。

## 12. 収支の内訳（一次計画）

### 収入の部

#### ①飼葉賃売上高：

初年度 20頭 × 180,000円 × 12ヶ月 = 43,200,000円  
2年度 30頭 × 180,000円 × 12ヶ月 = 64,800,000円  
3年度 40頭 × 180,000円 × 12ヶ月 = 86,400,000円  
4年度以降 50頭 × 180,000円 × 12ヶ月 = 108,000,000円

#### ②リハビリ売上高：

初年度 20頭 × 50,000円 × 12ヶ月 = 12,000,000円  
2年度 30頭 × 50,000円 × 12ヶ月 = 18,000,000円  
3年度 40頭 × 50,000円 × 12ヶ月 = 24,000,000円  
4年度以降 50頭 × 50,000円 × 12ヶ月 = 30,000,000円

#### ③治療売上高：

初年度 20頭 × 50,000円 × 12ヶ月 = 12,000,000円  
2年度 30頭 × 50,000円 × 12ヶ月 = 18,000,000円  
3年度 40頭 × 50,000円 × 12ヶ月 = 24,000,000円  
4年度以降 50頭 × 50,000円 × 12ヶ月 = 30,000,000円

### 支出の部

#### ①仕入れ原価（餌・藁その他費用）

餌・月 50,000円 藁費用・月 10,000円 医薬品・月 20,000円  
初年度 20頭 × 80,000円 × 12ヶ月 = 19,200,000円  
2年度 30頭 × 80,000円 × 12ヶ月 = 28,800,000円  
3年度 40頭 × 80,000円 × 12ヶ月 = 38,400,000円  
4年度以降 50頭 × 80,000円 × 12ヶ月 = 48,000,000円

#### ②人件費

調馬看護師	250,000円*3名～8名	=750,000～2,000,000円
薬剤師	300,000円*0名～1名	=0～300,000円
医療管理事務員	200,000円*1名	=200,000円
農務・農機具管理員	200,000円*1名	=200,000円
炊事・給仕担当	200,000円*1名	=200,000円
乗馬トレーニングガイド	200,000円*1名	=200,000円
サービス営業マン	200,000円*0名～1名	=0～200,000円

合計 1,550,000～3,300,000円\*12ヶ月 = 18,600,000～39,600,000円

③水道光熱費

電気・水道・ガス⇒ 200,000円\*12ヶ月=2,400,000円  
灯油⇒ 100,000円\*5ヶ月=500,000円

④リース料

コピー機&FAX⇒ 25,000円\*12ヶ月=300,000円

⑤消耗品

馬具類⇒ 5,000,000円(2~3年目以降)  
事務用品⇒ 40,000円\*12ヶ月=480,000円

⑥通信費

電話・携帯電話・インターネット⇒ 62,000円\*12ヶ月=744,000円  
(内訳: 電話>10,000 携帯電話>15,000\*3 インターネット>7,000)  
切手・郵便⇒ 2,000円\*12ヶ月=24,000円

⑦旅費

営業旅費(出張)⇒ 50,000円\*12ヶ月=600,000円  
その他旅費⇒ 10,000円\*12ヶ月=120,000円

⑧車輦費

軽油⇒ 30,000円\*12ヶ月=360,000円  
修理・車検⇒ 4,000,000円(2~3年目以降)  
税金⇒ 270,000円  
保険⇒ 180,000円

⑨広告宣伝費

DM・報告書(写真)・広告⇒ 21,600円\*12ヶ月=259,200円

⑩諸会費

なし

⑪租税公課

固定資産税・消費税⇒ 2年目以降  
取得税⇒ 500,000円位?

⑫保険料

火災・地震保険⇒ 50,000円\*6ヶ月=300,000円  
獣医師保険(賠償)⇒ 17,100円\*3名=51,300円

⑬その他

修理（建物）⇒ 1,000,000円（3年目以降）  
 砂代⇒ 2,000,000円（2～3年目以降）  
 不凍用塩・虫除け⇒ 500,000円  
 牧柵⇒ 1,000,000円  
 検査代⇒ 一頭5,000円\*20頭\*12ヶ月=1,200,000円

⑭雑費

交際費（接待）⇒ 50,000円\*12ヶ月=600,000円  
 交際費（冠婚葬祭）⇒ 400,000円  
 新聞・図書⇒ 25,000円\*12ヶ月=300,000円  
 運賃⇒ 30,000円\*12ヶ月=360,000円  
 その他⇒ 20,000円\*12ヶ月=240,000円

⑮減価償却費内訳

項 目	取得額（千円）	減価償却費
建物関係	196,850	20年・8,858,000
馬場工事費	8,000	10年・720,000
医療器具	30,350	6年・4,552,000
事務機器	8,300	6年・1,245,000
馬 具	6,800	5年・1,224,000
薬剤管理具	2,500	3年・750,000
合 計		17,349,000

⑯法人税等の税率を50%とした。

### 13. 収支の内訳（二次計画）

#### 収入の部

##### ①飼葉賃売上高：

5年度10頭×180,000円×12ヶ月=21,600,000円

6年度以降20頭×180,000円×12ヶ月=43,200,000円

##### ②リハビリ売上高：

5年度10頭×50,000円×12ヶ月=6,000,000円

6年度以降20頭×50,000円×12ヶ月=12,000,000円

##### ③治療売上高：

5年度10頭×50,000円×12ヶ月=6,000,000円

6年度以降20頭×50,000円×12ヶ月=12,000,000円

#### 支出の部

##### ①仕入れ原価（餌・藁その他費用）

餌・月50,000円 藁費用・月10,000円 医薬品・月20,000円

5年度10頭×80,000円×12ヶ月=9,600,000円

6年度以降20頭×80,000円×12ヶ月=19,200,000円

##### ②人件費

獣医師 250,000円\*2名=500,000円

医療管理事務員 200,000円\*1名=200,000円

パートタイマー 時給700円\*5時間\*2名\*25日間=175,000円

合計 875,000円\*12ヶ月=10,500,000円

##### ③水道光熱費

電気・水道・ガス⇒ 150,000円\*12ヶ月=1,800,000円

灯油⇒ 100,000円\*5ヶ月=500,000円

##### ⑤消耗品

馬具類⇒ 1,342,000円

##### ⑥租税公課

5年度以降固定資産税⇒ 300,000円

4年度取得税⇒ 300,000円

5年度消費税⇒ 1,200,000円

6年度以降消費税⇒ 2,400,000円

⑦保険料

火災・地震保険⇒ 50,000円\*6ヶ月=300,000円

⑧その他

6年度以降修理（建物）⇒ 1,000,000円

5年度以降不凍用塩・虫除け⇒ 500,000円

5年度以降牧柵⇒ 500,000円

⑮減価償却費内訳

項 目	取得額（千円）	減価償却費
建物関係	254,000	20年・ 11,430,000
馬場工事費	7,000	10年・ 630,000
医療器具	70,000	6年・ 10,500,000
事務機器	7,500	6年・ 1,125,000
馬 具	1,342	5年・ 241,560
車 輜	13,500	6年・ 2,025,000
合 計		25,951,560

⑯法人税等の税率を50%とした。

#### 14. 類似施設一覧

名 称	所 在 地	内 容
グリーンウッド トレーニング	滋賀県甲賀市甲南町 運営会社：(株)グリーンウッ ドパーク	馬房数200馬房 面積：279,681㎡ ウォーキングマシン8基・診療室 <a href="http://www8.ocn.ne.jp/~gwood/gaiyou.htm">www8.ocn.ne.jp/~gwood/gaiyou.htm</a>
JRA・競走馬 総合研究所常磐 支所「馬の温泉」	福島県ときわ市常磐白鳥 町	温泉施設・放牧場・ウォータートレッドミ ル・プール <a href="http://www.equinst.go.jp/JP/onsen/">www.equinst.go.jp/JP/onsen/</a>
小松温泉牧場	石川県小松市植田町	馬房7棟・70頭程度 <a href="http://kore.mitene.or.jp/~renault/komatsu.htm">kore.mitene.or.jp/~renault/komatsu.htm</a>
山元トレーニン グセンター	宮城県亘理郡山元町坂元	面積：37ヘクタール 育成馬244頭（収容能力） アエロホース（ウォータートレッドミル） 1基・ウォーキングマシーン12基
社台サラブレッ ドクラブ	北海道千歳市東丘	面積：290ヘクタール アエロホース（ウォーターレッドミル）1 基

## 15. 参考資料

- ①「競馬馬の水泳トレーニング」：発行者・中央競馬会・昭和63年8月
- ②2005年度から5年間の措置として、実施される「生産振興事業」  
組織対策・軽種馬経営構造改革支援事業  
担い手が生産の大もとを担う望ましい経営構造の実現に向け、地域の生産者  
団体が一体となって行う担い手経営の組織化などの先駆的な取り組みに必  
要な施設などの整備に対して助成を行う。
- ③「イギリスの厩舎」：発行者・財団法人 競馬国際交流協会・日本語訳大久保登喜子・  
平成14年3月
- ④「中山間地域振興の在り方を問う」：発行者・財団法人 農村統計協会・神野昭一・  
矢口芳生編著・平成11年12月
- ⑤「現代生涯学習全集 8 イベントによる地域活性化」：発行者・株式会社ぎょうせ  
い・岡本包治編著・平成4年11月
- ⑥「台頭する非営利セクター」：発行者・ダイヤモンド社・レスターMサラモン・HK  
アンハイアー著・平成8年10月
- ⑦「日高国新冠御料牧場 新冠御料牧場史」：発行者・みやま書房・山本融定著・昭和  
60年12月
- ⑧「創立20周年記念」：発行者・青れい社・新冠町農業協同組合 組合長山田武吉郎・  
橋本初蔵編・昭和43年4月
- ⑨「創立20周年記念」：発行者・軽種馬生産振興会 会長八木豊一・昭和44年1月
- ⑩「新冠町 開拓二十年の歩み」：発行者・新冠町戦後開拓20周年記念事業実行委員会  
新冠町長有田正太郎・昭和40年11月
- ⑪「創立25周年記念 並びに農山村電気導入（一般供給切替）事業完了」：発行者：  
高田印刷・新冠町開拓農業協同組合 組合長理事小泉勤・法  
野辰男編・昭和48年4月
- ⑫「創立30年のあゆみ」：発行者・青れい社・新冠主畜農業協同組合 組合長理事小

泉勤・法野辰男編・昭和53年10月

⑬「土と共に三十五年 古岸開拓三十五周年記念誌」：発行者・文林堂・実行委員長 小野巖・菱沼和雄編・昭和55年12月

⑭「古岸地区開拓50周年記念誌 夢魂」：発行者・実行委員長 草野喜昭・盛川英俊編・平成7年9月